

## ライかん者に一生をささげた女医服部ケサはつとり

公立岩瀬病院の正門を入るとすぐ左がわに、三つの大きな碑ひが立っています。そのまん中の碑には、女の人の顔と、その上に「頌徳しょうとく」の文字がきざまれています。



す。

碑の後ろにある、柿の木になつたまつ赤な実が、秋の夕日に照らされ、いつそう美しく輝かがやきます。女の人のほおも、夕やけにそまりながら、ふるさどにつつまれたようなやすらいだ顔にみえ